

家庭・地域で育てる心豊かな子ども – 「旬の会」の活動を通して –

旬の会

活動の目的

農作業やものづくりなどの自然体験活動を通じて、子どもが体験や工夫の喜び、楽しさを知り、そこで得た知識や技能、考え方などを基に、実生活において自分で課題を見つけ解決しようと取り組む力や協働で活動することの大切さなどに気づくことを目的とした。

活動の内容及び経過

2017年2月の笠岡市生涯学習フェスティバルでのパネル展示、笠岡市内店舗での掲示、Facebookなどを通じて募集、月1～2回、全18回の活動を、「旬の会」が借り上げている笠岡市内の耕作放棄地などを拠点とし、次の5つの体験を中心に実施した。

- (1) 農地を耕し、野菜を植え付け、収穫する農業体験
 - ① たけのこ掘り・山菜とり
 - ② 夏野菜植え付け
 - ③ サツマイモ植え
 - ④ 田植え
 - ⑤ サツマイモ収穫
 - ⑥ 稲刈り
 - ⑦ シイタケコマうち
- (2) 農地近辺に生息する生き物を捕獲し、観察する体験
 - ① (1) の体験時
 - ② 自然散策・ブッポウソウ観察(キャンプ)
 - ③ まち歩き
- (3) 収穫した野菜を使った調理体験、クラフトや工作体験
 - ① デイキャンプ(竹箸づくり)
 - ② 夏野菜ピザづくり
 - ③ 豆腐づくり
 - ④ もちつき
 - ⑤ ケニア料理教室
 - ⑥ 味噌づくり
- (4) 建築士指導の空間認識体験
 - ① まち歩き
 - ② 秘密基地づくり
- (5) 留学生とともに活動し、異文化に身近に触れる活動
 - ① 主な農業体験は留学生とともに体験
 - ② ケニア料理教室

活動の成果・効果

(活動の成果)

活動実施後のアンケート項目、「活動後の家庭生活において、子どもに変化がみられたか」に対し、回答者の89%に変化がみられた。回答者の全員が、「旬の会」の親子で過ごす時間が有意義・やや有意義であったと回答。目的にあげた「本活動を通じて、子どもが体験や工夫の喜び、楽しさを知り、そこで得た知識や技能、考え方などを基に、実生活において自分で課題を見つけ解決しようと取り組む力や協働で活動することの大切さなど」に親子で気づけたと高評価であった。また、前年度に引き続き助成していただき、専門の知識をもつ講師や留学生を招聘し、子どもの疑問に答えられる環境を整えることができ、子どもの知的好奇心がさらに旺盛になったと考えている。



(子ども、保護者の変化にみられる活動の効果)

- ① 6歳保育園児「ピザづくりに参加した後、子どもが料理の手伝いをしたがるようになった」
- ② 4歳保育園児「初めてケニア人に会った時には怖がっていたが、次第に会うことを楽しみにするようになった。多様性を身につけられてきた」
- ③ 小学3年生・5年生兄弟「参加していた中学生が吹いていた草笛にはまり、野外ではいつも草を探し吹くようになった。異学年の子と交わって活動するよさだと思う」
- ④ 小学3年生「自主勉強ノートに、その日の活動についてまとめるようになった。関連して疑問に思うことも調べており、疑問を解決しようとする姿勢が身につけてきた」
- ⑤ 小学1年生「のこぎりや小刀、マッチなどの道具を使う機会が何度もあり、怖がらず安全に使えるようになってきた」
- ⑥ 6歳児保育園児の保護者「体験したことをきっかけに、家庭でもやってみようという意欲が子どもにも自分自身にも芽生えてきた」
- ⑦ 小学6年生の保護者「ブッポウソウの観察会では、鳥への興味・関心が芽生え、家の近くでも鳴き声や姿を意識し、観察するようになった」

今後の課題と問題点

野外で活動すること、植物の生育状況が天候に左右されることなどから、実施日の決定がぎりぎりになったり、延期せざるを得なくなったりしたため、参加者が少ない回があった。

- 代表者：田中恵子
- 所在地：笠岡市笠岡
- TEL：090-4895-9252
- E-MAIL：shun.no.kai@gmail.com
- URL：http://m.facebook.com/shun.no.kai2013
- 設立年：2013年
- メンバー数：8名